

一般社団法人はたらくよこび

就労継続支援A型事業所。軽度の身体・知的・精神障がいを持つ方を対象にパソコンの分解、金属やプラスチックの選別、紙バンドの製品作り、水耕栽培などの作業を行うオールバリアフリーの職場です。

[連絡先] 高岡市立野3037番地 TEL 0766-54-6624



荒木商会 瀧下 颯斗 [たきした はやと]さん(23歳)
高岡支援学校卒業後、荒木商会に入社。今年で6年目を迎える。休日
はドライブに出かけ、おしゃれな店で洋服や靴を買うのが趣味。



軽度な障がいを持ちながらも、働く意欲を持った方々が集まり、いきいきと作業を行っています。

「はたらくよこび」を
みんなで共有していきたい

高岡支援学校を卒業し、資源リサイクルを行う荒木商会に勤めて6年目になる瀧下さん。学生時代は陸上部の選手として1,500mで県記録を出したこともあり、高等部の時には生徒会長も務めました。そんな瀧下さんの長所は、「いいも悪いも言めて素直なところ」と荒木社長は言います。

金属のスクラップを回収して積み込む仕事です。「後でトラックから降ろすことも考えて、はみ出さないようパレットの上にキチンと積むと自分も気持ちがいいし、『積み込みきれいやね!』ってほめられると嬉しいです」。積み方は尊敬する先輩のやり方を見て覚え、重たい金属を運べるように、ジムで体も鍛えたという瀧下さん。

「富山や石川の取引先のお客様からも、対応がすごくいい」と瀧下さん。

「富山や石川の取引先のお客様からも、対応がすごくいい」と瀧下さん。

「初めの試みで課題はたくさんありますが、解決できない問題はないと思っています。感謝」

生徒や先生、保護者との関わりを持つようになった荒木社長は、「仕事を通して、この子たちの可能性を伸ばせる場所をつくりたい」と、支援施設「はたらくよこび」を立ち上げました。「福祉について詳しいわけじゃなかった。でもなぜか使命感を感じたんです」という荒木社長は、個人の資金で新しい作業場を建てました。



「はたらくよこび」を立ち上げた荒木さん

有限会社荒木商会 代表取締役
一般社団法人はたらくよこび 理事長
荒木 信幸さん